

図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：10:00～18:00

休館日：8/7(月)・14(月)・21(月)・28(月)・31(木)

ゴミ清掃員の日常

(滝沢秀一、講談社)



ピザの箱は「何ゴミの日」に出す？ゴミ清掃芸人が夫婦で描いたエッセイまんが「ゴミ清掃員の日常」「ゴミ清掃員の日常ミライ編」から、ゴミの捨て方についてのエピソードを厳選し、書き下ろしを加える。

あなたの燃える左手で

(朝比奈秋、河出書房新社)



ハンガリーの病院で手の移植手術を受けたアサト。だが麻酔から醒めると、繋がっていたのは見知らぬ白人の手。アサトは他人の手を受け入れられず…。身体を、国を奪われる意味を問う傑作中篇。『文藝』掲載を単行本化。

かっぱのたんたんつりにいく

(佐藤弘道、谷口國博、世界文化ワンドーグループ)



今日は、とってもいい天気。かっぱのたんたんは、釣りに出かけました。大きな湖で釣りを始めると、さおがグイーンとしゃんと…。「釣ったか？たんたんたん」の楽譜と歌詞、ダンス解説つき。

かげふみ

(朽木祥、光村図書出版)



夏休み、広島のお祖母の家で過ごす拓海は、戦前は学校だったという児童館の図書室で三つ編みの女の子と出会い…。表題作のほか、光村図書国語教科書(小5)所収「たずねびと」も掲載。語句解説、ヒロシマへの道しるべも収録。

紹介文：TRC MARC

お知らせ

- ▶テーマ展示「怖い！けど…読みたい」「せすじがゾゾーツ」
- ▶絵本のおみせかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶読みたい本が図書館にないときは、リクエストサービスをご利用ください。
- ▶図書館にご来館の際は、マイバッグをお持ちください。

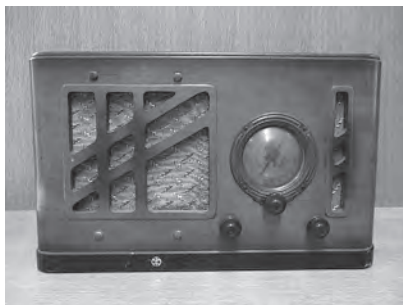
歴史探訪

戦争下のラジオ

日本でラジオ放送が開始されたのは、大正一四年(一九二五)のことです。当初、東京、名古屋、大阪で、それぞれに放送局が設立されましたが、ラジオ放送を重視した政府の方針で、「社団法人日本放送協会」として一つの放送局に統合されました。政府は、他の放送局の設立を認めなかったため、この放送局が、唯一の放送機関となりました。

戦争がはじまると、ラジオ放送は政府の厳しい監督下に置かれ、戦局の進行と共に、政府の都合のよい情報を報道するための政府機関として、大きな役割を演じることとなりました。

昭和二〇年(一九四五)八月一日正午、昭和天皇の肉声で、ポツダム宣言の受諾による終戦を伝える放送が流されました。玉音放送とよばれるこの放送により、日本国民は戦争の終結を知りました。連合国との終戦協定は九月二日に結ばれたので、実際の日本の敗戦はこの日となりますが、ラジオから玉音放送が流された八月一日を終戦の日としています。



▲戦時中のラジオ(ミニ企画展で展示しています。)

『垂井町史』通史編・史料編
タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館
で販売中 各4,000円

ミニ企画展「戦時下のくらし」
9/3(日)